平成30年　塩川小学校の「名言」・「名場面」

①「なんとすばらしい光景！素敵な子ども達！」

①横断歩道で止まった自分に、みんなで丁寧なお礼をした子ども達に感激し、お手紙で教えてくださった地域の方のお言葉です。

②「規律」「礼儀」を身に付けると、和やかで豊かな人間関係が育まれ、学校生活に潤いと活気が生まれます。

②「校長先生、おはようございます。」（入学間もない1年生が、しっかり名前を付けてあいさつできました。）
②“全て”の椅子が、机の中にしっかり入っています。

③「校長先生、校庭の水とりしてもいいですか？」

③「子ども達に、運動会をさせてあげたい。」と、自発的に校庭の水とりをしてくださいました。素敵な子どもに、素敵な保護者ありです。

④「しっかりしてるなぁ！　気をつけてな！」

④修学旅行1日目の昼食のために入った牛タン店の店長のお言葉。
　片付ける人の身になって、食器を種類ごとに揃えたところ、こんなお褒めの言葉をいただきました。

⑤ヘルメット、全員着用！！

⑤ヘルメットを全員かぶり、自転車をおしながら横断歩道を渡る集団は、塩川小の子ども達でした。交通教室で学んだこと、先生や親から指導されたことを、しっかり実行している姿に感心させられました。

⑥世界にも通用するもの。それは、名前を付けた、さわやかあいさつです。

⑥少年の主張大会「最優秀賞」となった、小野田大夢くんの言葉です。
　「名前を付けたあいさつは、心が通じ合い、優しい気持ちになる」と主張しました。

⑦「しっとりして、素敵な子ども達ですね。」

⑦「校長先生、素敵な子ども達ですね。素直で意欲的で、しっとりしています。全国の学校を訪問してますが、こんな素敵な子ども達は初めてです」（齋藤喜博氏に師事し、「創造する授業」などの著書もある川嶋　環（たまき）先生のお言葉）

⑧「ビリでもがんばって、あきらめない！」「この気持ちは、これからの自分に大切なもの！」

④マラソン記録会を通して、目標の持ち方を学んだHさんと、悔しい、悲しいというネガティブな気持ちは、自分を高めてくれる気持ちだと学んだKさんでした。

⑨「キラリ塩小デーが、こんなにたのしいとは、おもいませんでした。」

⑩「ほら、こんなふうに傘の先を持って、下からこうやってまるめるんだよ。」（Kくん）「（傘を丸めて）細くしないと、みんなの傘が入らないから丸めるんだよ。」（Mさん）

よいと思ったことを実行する子ども、本好きな子どもが増えました（11冊）。

★　「あ・は・も大賞」を誇りに！自分と学校に誇りを！

「素敵な姿」に学び、素敵な自分、素敵な塩川小学校に高めていきましょう。